

萩市医師会報

No.603 2023.6

7 月 例 会
7月23日(金) 午後7時
於 医療支援センター

「蒸気霧」阿武川
撮影 R.H.

【行政説明】

「萩市医師会との連携事業の推進に向けて
～令和5年度を取り組み～」

【萩市市民課 保健師 佐々木典代】

【阿武町健康福祉課 金子 愛】

- 1) 萩市・阿武町のまちづくりの基本理念
「すべての人が、住み慣れた地域で、健康で、安心して、生き生きとした生活が送れるまちづくり」を目指すこと
- 2) 基本理念を実現するために妊娠期から高齢期までのライフステージ全般を通じて、母子保健、成人・高齢者保健、認知症予防などの関連事業を切れ目なく展開すること。
トピックとして萩市では医師会の先生方との連携協力により事業が円滑に実施されており、昨年12月に国保連合会と広域連合からの依頼を受け、兼田先生に事例発表をして頂いたこと
- 3) 萩地域の健康課題
萩市、阿武町の状況として「令和3年死因順位、構成割合」では全国、山口県と同様に悪性新生物が1位だが、心疾患、脳血管疾患も多いことや健康寿命について日常生活が自立しているまでの期間を示す、要介護2以上となる年齢が阿武町は県内の市町と比べて低いこと。特定健診の結果から言えることとして、健診を受けた方でHbA1c値では保健指導の対象となる5.6%以上の該当者が萩市の場合は8割程度おられ、投薬治療を受けていない方を保健指導に如何に繋ぐかが課題であること。血圧も同様に130以上の高血圧の方に対する保健指導の働きかけが課題であること。最大の課題としては萩市、阿武町の健診の受診率の底上げと萩市を例にとれば11.4%と低い保健指導の終了率の改善に向けて住民に保健指導を継続して受けてもらう働きかけの強化があげられること。後期高齢者における入院と外来を合わせた医療費による疾患別の統計から分かることとして、循環器疾患及び筋・骨格疾患が上位にあげられるこ

と。令和5年度はこれらの疾患の発症と重症化の予防を重点とし、健康保健指導の「受診率」の向上と転倒防止のための「ふらつき」の予防を目的とする取り組みを事業(案)に盛り込み、着実に実施し、健康寿命の延伸に繋げたいこと

4) 令和5年度事業(案)について

令和5年度事業(案)の中で、萩市医師会の医療機関の先生方に対し、以下の事業について、協力依頼がされた。

①服薬管理指導事業

鎮痛剤、精神安定剤等を複数の医療機関で受けられている方をレセプトデータから抽出して、審査会での選出を経て、萩薬剤師会に委託し、薬剤師に家庭訪問指導を行って頂く。その際、家庭訪問をする薬剤師から指導の参考として、かかりつけ医へ照会があるので対応して頂きたいこと

②健診受診率向上・特定保健指導の促進事業

通常診療において患者に対する健診の受診勧奨及び健診結果の説明時における保健指導が必要な方への理解促進及び助言

【質疑】

健診の項目としている1日あたりの平均塩分摂取量のデータの提示をお願いしたい。

【回答】

全国では10g程度だが萩市では12gであること、一例として糖尿病教室で減塩指導、検査の説明がされています。

一 医 師 会

1 県医情報

前川県医常任理事

健診についての関連情報として、自治医科大学の和田先生の生涯学習の中で山口県の健診状況を評価した講話があり、本県の特定健診や保健指導の受診率が低いのは何故かを調査した結果、「いつでも受診ができるから」との回答が最も多かったこと。山口県民の健康診断に対する意識としては医学的予防よりも、発症後の治療を重視す

る傾向にある反面、健康食品の購入額は全国1位であり、健康に関する消費行動の意欲は高いこと

コロナ関係として、5類への移行後はコロナ前のような幅広い医療機関で対応する状況になりつつあること、コロナ禍限りの特例として、通常は医療機関がホームページ等で掲げることを禁じられている「安心」といった表現を国に認めてもらい、日本医師会から感染防止対策を徹底している医療機関に「みんなで安心マーク」を表示使用するよう勧奨していたが、5類移行後は通知により、使用しない旨の周知がされたこと、看護実習で医療機関へ行く場合のコロナ抗原検査の実施に係る助成事業が終了したこと

医師の働き方改革関係として、日本医師会の医療機関勤務環境評価センターへの全国の医療機関からの特例水準の評価受審申込が今年に入ってから伸び始めていること

山口県関係として、第8次医療計画の策定に関連し、療養病床のある病院へ転換等の意向調査があること

8次医療計画の事業項目である「新興感染症等の感染拡大時における医療」との整合を要する感染症法改正に伴う予防計画策定に関連して、計画策定に向けた取組方針に関する厚労省の通知や計画改定作業についてのガイドラインに沿って、県から感染症に基づく医療機関との協定を締結するために各医療機関に対する事前意向調査が行われること

2 会長報告

綿貫会長

第193回臨時時代議員会報告

4月20日(木) 於 山口県医師会

加藤会長の挨拶の中で以下のことが述べられた。新型コロナウイルス感染症の5類移行への対応について、感染による休診等への一時金補助事業の対象となった医療機関が61施設あったこと、今後、特に力を入れていくべき事案である不足している若手医師の確保対策として、時間外救急対応をする医師へのインセンティブを設けること、組織強化を兼ねて医学部研修医に対する加

入促進の理解促進をすること、山口大学医学部の若手研究者への補助金等を検討すること、自治医科大学出身者のキャリアアップサポート等を推進すること、閉院する診療所と開業したい若手医師との事業継承のマッチング事業を積極的に展開すること

次に第153回日本医師会臨時時代議員会報告の冒頭の松本日本医師会会長の挨拶で以下のことが強調されたこと

来年度は診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等の報酬の改定いわゆる「トリプル改定」があること、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類へ移行する5月8日以降の「新型コロナウイルス感染症対策」への会員協力依頼がされたこと、「医師の働き方改革」に関して、時間外労働の特例水準の取得の申し込みをした医療機関へサーベイが開始されたこと、日本医師会が厚労省に医療機関に対し宿日直許可の取得を促すよう働き掛けた結果、取得が大幅に増加したこと

議事として、報告第1号令和5年度山口県医師会事業計画の件、報告第2号令和5年度山口県医師会予算の件について内容説明がされた。

3 6月診療報酬請求書の移送日について

大藤理事

国保・社保 6月9日(金) PM2:00まで

4 6月の定例・臨時理事会、定時総会、例会の日程について

大藤理事

定例理事会 6月7日(水) PM7:00～

臨時理事会 6月14日(水) PM7:00～

臨時理事会 6月21日(水) PM7:00～

定時総会 6月24日(土) PM3:00～

例会 6月24日(土) 定時総会後

総会・例会会場 医療支援センター

懇親会会場 北門屋敷

5 郡市医師会成人・高齢者保健担当事務協議会報告

兼田理事

4月27日(木) 於 山口県医師会

1) やまぐち健診(検診)受診総合促進事業について

健診(検診)受診を通じた疾病の予防・早期発見により、県民の健康寿命の延伸を図るため、これまで、各健診(検診)ごとに行われてきた受診促進のための取組を総合的に実施するもの

事業概要としては、特定健診・がん検診の会場において、歯科健診も併せて同時実施する「やまぐちトータル健診(検診)方式」モデル事業(モデル事業として今年度は県内1か所で実施)、「やまぐち健診(検診)受診勧奨強化事業」、「就労世代の歯科健診等推進事業」の3事業で構成されること

2) 健康づくりに関する事業として、「やまぐち健幸アプリ」を活用した健康づくり動画の配信等のプロモーションの展開により、アプリの利用を促進し、運動習慣の定着促進や健康づくりに関する全県的な機運醸成を図ること、「健康情報収集発信強化事業」により、県ホームページの「健康やまぐちサポートステーション」の情報発信の仕方として、健康づくりの「見える化」・「日常化」の一層の進展を通じて、県民一人ひとりの健康づくりへの取り組み意欲を増進すること

「循環器病対策推進事業」により、山口県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進計画に基づく県民に対する循環器病予防の普及啓発や医療従事者等の連携強化に取り組むこと

医療従事者等の連携強化として循環器病の発症から社会復帰まで、医療従事者や介護従事者、保健指導従事者等の多職種の連携強化による切れ目ない支援体制の構築を目指し、協議会と専門部会の設置及び多職種連携研修会の開催を予定していること

3) 肝炎対策について

肝がん・重度肝硬変治療特別促進事業において、令和5年4月から粒子線治療の通院治療も対象となったこと、肝炎ウイルス検査事業でのフォローアップ検査費用の助成が年2回までであること

4) 子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)について

令和4年4月から個別の勧奨を再開していること、対象は小学校6年生から高校1年生相当の女子と対象年齢(小学校6年から高校1年相当)の間に接種を逃した方で平成9年度生まれから平成18年度生まれの女性

5) 感染症予防計画改定について

留意事項として、全ての医療機関に対して都道府県医療審議会の意見を尊重する義務が課されること

6) 風しんに関する事業について

山口県の事業である風しん抗体検査の対象者、実施機関、実施期間の説明がされた。合わせて、市町が実施する風しんの追加的対策である風しん抗体検査・予防接種検査事業の対象となる男性の条件(住民登録、生年月日の期間、抗体保有率)の説明がされた。

7) アレルギー疾患対策について

アレルギー疾患医療認定制度において、認定の医師やサポートスタッフは、令和5年度末に認定期間を終了することから研修会が予定されていること

8) がん対策について

9) 糖尿病対策について

10) 禁煙推進について

11) 健康教育テキストの活用について

6 学術講演会の開催について 藤原理事

日時 6月22日(木) PM7:00~8:30

場所 医療支援センター(ハイブリット)

講演 「トータルケアを目指したCOPD治療(仮)」

講師 山口大学医学部附属病院呼吸器内科・感染症内科 助教

村田 順之 先生

講演 「プライマリーケアにおける喘息診療のポイント(仮)」

講師 山口大学医学部附属病院呼吸器内科・感染症内科 助教

大石 景士 先生

日時 7月26日(水) PM7:00~8:00

場所 千春楽味楽亭(ハイブリット)

講演 「脳梗塞患者の治療：急性期から慢性期まで」

講師 山口大学大学院医学系研究科脳神経外科学 講師
岡 史朗 先生

7 4月分会計収支報告について 米城理事
会計収支表に沿って説明された。

理事会報告

令和5年6月7日(水)

一 医師会

- 1 会長報告 綿貫会長
(省略)
- 2 7月診療報酬請求書の移送日について 大藤理事
国保・社保 7月10日(月) PM2:00まで
- 3 7月の定例理事会、例会の日程について 大藤理事
定例理事会 7月12日(水) PM7:00~
例 会 7月28日(金) PM7:00~
場 所 医療支援センター (全会)
- 4 令和5年度創立記念行事の開催について 大藤理事
卓話 米澤 文雄 会員
日時 7月28日(金) 例会終了後
- 5 令和5年度長北医学会の開催日程について 大藤理事
令和5年10月22日(日)とし、特別講演と会員研究発表、懇親会と通常の日程で開催とすることが決議された。
- 6 郡市医師会保険担当理事協議会報告 河野理事
5月11日(木) 於 山口県医師会
【議事】
 1. 令和5年度山口県社会保険医療担当者指導計画について

- 集团的個別指導及び個別指導の選定について、県の平均診療報酬点数を超えている医療機関からレセプト件数が少ないところを抽出し、直近で集团的個別指導、個別指導、新規個別指導を受けた医療機関を除いて、実際に指導する対象医療機関が選定されること。選定に基づく指導予定数の計画が示されたこと
2. 令和4年度山口県社会保険医療担当者指導実施状況について
集団指導に関してはeラーニングを行うこと。集团的個別指導は集合形式での対面で行われること
集団指導の対象機関でインターネットの環境が無い場合は集合形式で実施となること
 3. 令和5年度生活保護法に基づく指定医療機関の個別指導計画について
生活保護の医療扶助を受けている者のレセプト件数の多い医療機関からの抽出されること
 4. 令和6年度診療報酬改定説明会の開催予定について
改定案の公表は10月に予定されているので、詳しい日程はその後になること
 5. その他 (省略)
 6. 郡市医師会からの意見及び要望
16題の意見要望があり、各題の県医からの回答が報告された。
 - 7 令和5年度第1回山口県医師会地域医療計画委員会・郡市医師会地域医療担当理事合同会議報告 佐久間副会長

6月1日(木) 於 山口県医師会

【議題】

1. 「第8次山口県保健医療計画」の策定について

地域課題が重複する関係計画の効率的な推進と計画間の調和を図るため、「医師確保計画」「外来医療計画」「がん対策推進計画」「循環器病対策推進計画」の4計画が「医療計画」へ抱合されること。令和5年10月から令和6年3月までの策定スケジュールが提示されたこと。従前どおり、二次医療圏の見直し基準に岩国、萩圏域が該当していること、従前の計画の項目の5疾病・5事業及び在宅医療の内、5事業に新興感染症等（感染症対策の「予防計画」と要調整）が追加され6事業となったこと、在宅医療における主な見直しのポイントと対応については、積極的な役割を担う医療機関の位置づけ、在宅医療に必要な連携を担う拠点の主体として行政、医師会、保健所、医療機関等（共同も可）による設置が想定されていること

2. 「山口県感染症予防計画」の改定について

国の基本指針の中の協定締結のプロセス及び担保措置/履行確保措置に従い県は今後の新たな感染症のまん延等に対応するための体制づくりを平時より備えるための取組として行うこと、取り組みの一環として平時に、県は新興感染症の対応を行う医療機関と協議を行い、感染症対応に係る協定（病床/発熱外来/在宅療養者等に対する医療の提供/後方支援/人材の派遣）を締結する必要があること。国は全ての医療機関に対して協議に応じる義務を課し、協議が調わない場合を想定し、都道府県医療審議会において調整の枠組みを設けた上で、本県でも全ての医療機関に対して県の医療審議会の意見を尊重する義務が課されること。感染症発生・まん延時に担うべき医療の提供として病床規模はピーク時には一定規模以上の病床確保を行うこと等が想定されていること。入院については県知事の要請後速やかに（1週間以内を目途に）即応病床化とすること、協定により発熱外来・在宅

医療機関には感染者の最大値への対応体制が求められること、また、薬局、訪問看護事業所と連携し、自宅、宿泊療養者・高齢者施設等での感染者に対し、オンライン診療往診、訪問看護、医薬品などの対応が求められること、県は施設等と医療機関の連携の強化、救急医療を含めた医療支援体制の機能を確認し、必要な医療提供体制の構築を進めること。新型コロナウイルス感染者が急拡大した地域への不足する医療人材確保の仕組み・ルールがなかったため、広域的な医療人材派遣の仕組みが検討されたこと

3. 今後の「地域医療構想」の進め方について（省略）

4. その他

岩国市、防府、下関市の各医師会から意見要望があったことの報告がされた。

前川県医常任理事から追加として、医療機関との協定締結の義務化については、厚生労働省の医療政策研修会では最終的に令和6年9月頃までに締結するイメージであり、大まかなことは本年度中に織り込む予定。義務の解釈は、厚労省では協議（話し合い）があった上で妥結するプロセスへ導いた上での締結であることを主旨とする通知が都道府県へ発出済みで、運用に当たり、県の解釈による部分も生じることが想定されること

8 5月分会計収支の承認について

米城理事

会計収支表のとおり承認。

二 萩准看護学院

1 5月分会計収支の承認について

米城理事

会計収支表のとおり承認。

私の大切な本

山本 貞壽

山積みの中から探す苦労と喜び、
映画「海難 1890」を見て

「日本人が知らない、奇跡の実話」なる映画を5月21日(日)萩ツインシネマで観た。家内とその友人も誘ってだったが、私も観客(40人位?)も皆んな感動していた。上演実現させた関係者に深い感謝と、交わりを持つ重要さと感動を得る人生上の意味を新たにしたのだった(写真1)。



写真1

私は知っていた。確かに本を持っている筈だ。五部屋にある山積みや箱積みの中を探し出した。何日かかけてやっとみつけて安心(写真2・3)。



写真2



写真3

「エルトゥールル号」事件のことである。「東の太陽 西の新月」日本とトルコの友好秘話を記した書評には、トルコに旅した日本人なら誰もが思う。「トルコ人って何でこんなに親日的なんだろうか?」その答えが本書の中に生き生きと描かれている。トルコでは小学校の教科書にも載っている、そして日本人はほとんど知らないある感動的な物語。主役は国のエライ人たちではなく、名もなき普通の村人たちの無私無欲の行為だったのだ(鳥越俊太郎氏)。

私の映画のクライマックスは、「日本人を救うのだ! 恩を返すのだ、トルコの誇りに懸けて乗務員たちは決死の任務に志願した」場面です。その場面を描いた絵が探し出した本にあった時、私は若返った(写真4)。



写真4

住民健診担当理事より
お知らせ

「がん検診を受けましょう。」

- ◆胃がん 50歳以上 2年に1回
- ◆肺がん 40歳以上 1年1回
- ◆大腸がん 40歳以上 1年1回

- ◆子宮頸がん 20歳以上の女性 2年に1回
- ◆乳がん 40歳以上の女性 2年に1回



小児感染症情報

5/1(月)～5/28(日)

疾患名	5/1～5/7	5/8～5/14	5/15～5/21	5/22～5/28
新型コロナ感染症	12	4	1	2
インフルエンザ (A・B)		1		
RSウイルス感染症	1	3	28	11
咽頭結膜熱 (アデノウイルス感染症含む)				
溶連菌感染症				
感染性胃腸炎 (ロタ・アデノ・ノロ・その他)	13	17	14	10
水痘				
手足口病				
伝染性紅斑				
突発性発しん	1			
ヘルパンギーナ		2	3	11
流行性耳下腺炎				
帯状疱疹				
ヒトメタニューモウイルス				
マイコプラズマ感染症				
ヘルペス歯肉口内炎				

報告者：いわたにこどもクリニック 院長 岩谷 一

救急月報 (令和5年5月分)

萩市消防本部

区分	救急事故種別											合計	
	火災	自然災害	水難事故	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
本月分	出動件数	0	0	0	15	1	1	44	0	1	173	45	280
	搬送人員	0	0	0	16	1	1	42	0	1	162	43	266

萩市医師会報 No.603

2023年6月30日発行

編集 広報委員会
 発行人 萩市医師会
 印刷所 (有) マシヤマ印刷